

第2回 梅香小学校敷地複合施設のあり方市民会議 議事録

1. 日 時

平成26年7月1日(火)午後4時30分～午後6時30分

2. 場 所

第2委員会室

3. 出席者

構成員9人(欠席1人)

(敬称略)

	氏名	役職等	出席状況
コーディネーター	久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授	
学識経験者	佐藤 智子	東京大学大学院教育学研究員	
地域住民代表	高山 嘉之	繁栄社会福祉連絡協議会	
	廣岡 美津子	東難波社会福祉連絡協議会	
社会教育関係者	川岸 邦充	社会教育委員	
	石田 すぎえ	公民館運営審議会	
公募市民	勇 正一郎	公募市民	×
	太田垣 亘世	公募市民	
	大原 一憲	公募市民	
	原田 明	公募市民	

傍聴者 0人

4. 議事録

(1) 複合施設のあり方について

事務局から梅香小学校敷地複合施設のあり方の検討にあたって(資料1)をもとに施設のコンセプトや建設にあたっての制約等について説明した。

(構成員): 今回の複合施設は旧労働福祉会館及び中央公民館と同じようになるのか。

公施課長 : 旧労働福祉会館の大ホールの利用率が高かったことから、ホール機能を代替していこうと考えている。また、既存の中央公民館も老朽化しているため、新たな施設として建て替えるにあたり、複合化して一つの施設として整備できればと考えている。

社会教育委員会議からの意見

第1回梅香小学校敷地複合施設のあり方市民会議後に社会教育委員会議が開催され、第2回梅香小学校敷地複合施設のあり方市民会議に対して集約された意見(追加資料)について、社会教育委員である川岸氏から説明があった。

他の構成員から質問はなし。

多目的ホールの規模等

- (構成員) : アルカイクホール・オクトが近隣にある中で、梅香小学校敷地複合施設に 400 ~ 500 m²規模の多目的ホールが必要なのか。
- 公施課長 : 旧労働福祉会館の大ホールは定員 560 人であったが、満席になることは稀で、概ね 400 人程度の収容が必要であったことから、400 ~ 500 m²規模の多目的ホールが必要と考えている。
- (コーディネーター) : 設計の専門家である私としては、定員 560 人規模のホールは中途半端な規模で、もう少し小さい規模か、もう少し大きい規模のほうが使い勝手は良いと思う。事務局から多目的ホールの規模は 400 人程度と説明があったが、この市民会議の中でどういうホールが必要なのかについて議論できればと思う。
- (構成員) : 「中途半端な規模」とはどういうことか。
- (コーディネーター) : 利用団体の集客力に応じた規模のホールが必要と考えている。例えば、市民グループなら 200 人程度、大きなコンサートをするなら 1,000 人程度の規模が適しており、500 人程度の規模はどっちつかずで中途半端な規模と言える。
- (構成員) : 多目的ホールの規模が決まらなると公民館の施設に関する議論に入り難い。
- (コーディネーター) : 多目的ホールゾーンと公民館ゾーンというように区分するべきか、場所に拘らず機能単位で考えるべきか議論する必要がある。
- (構成員) : 分けてしまうのは難しいと思う。
- (コーディネーター) : 皆さんの望んでおられる施設がある程度分かった段階で、それに合う施設を見学しようと考えている。豊中市の千里文化センター「コラボ」は、出張所、老人福祉センター、保健センター、図書館、公民館の 5 施設で構成される複合施設で、市民協働部が施設の一体的な運営管理を行っている。このような施設を見学すれば、イメージが湧いてよいと思う。

子育て世代や若者のためのスペース

- (構成員) : 小さい子どもや若いお母さん方にとって魅力的なスペースが欲しいという声が地域から多く寄せられている。
- (構成員) : 全ての市民にとって魅力的な施設であることが理想的であるが、新しい施設が活気のある施設となるよう、子育て世代や若者が足を運びたいくなるような施設を目標にして議論してはどうか。
- (コーディネーター) : 吹田市の子育て青少年拠点「夢つながり未来館」を建設する際に若者の意見を求めたところ「何も要らない。畳敷きスペースと自動販売機があれば、そこでゆっくり話ができる。」といったものであった。
- (構成員) : 若者にとって魅力的なスペースは何か、ニーズを見極める必要がある。
- (コーディネーター) : 利用者委員会を設け、意見を求めることも考えてよいと思う。

魅力的な施設にするための人材

- (構成員) : 丹波市のたんば田園交響ホールでは、舞台技術ボランティアスタッフの募集と育成

を行い、市民参画による舞台運営を通じて文化芸術活動による人材育成に努めている。

尼崎市にも人材を育成する取組が必要だと思う。

(構成員) :今の公民館には魅力的な人材がない。新しい複合施設には、人を惹きつけるような魅力的な人材が必要だと思う。

情報発信する施設

(構成員) :「ひと咲き、まち咲き、あまがさき」の咲いた人を見せるという意味でも、公民館での活動等を取り上げて発信できる機能が必要だと思う。

(構成員) :尼崎には発信するに相応しい魅力がたくさんある。尼崎の象徴を強調できるような施設にできればよいと思う。

公民館への要望

(構成員) :公民館は貸し部屋だけの印象。魅力的な講座を提供して欲しい。

(構成員) :公民館には行き難いイメージがある。行き易くなるような発信方法を考える必要があると思う。

(構成員) :公民館の掲示板の活用が不十分だと思う。公民館情報を積極的に宣伝する必要があると思う。

(構成員) :カフェがあれば行き易い施設になると思う。

(コーディネーター) :先ほど紹介した豊中市の千里文化センター「コラボ」にもカフェがある。

養護学校との関係

(構成員) :同一敷地内に建設される養護学校と複合施設が互いに交流し、養護学校の活動と公民館の活動がクロスするような機会を設けてはどうか。

(構成員) :公民館には、「おでかけ事業」という館外で講座を実施する取組があるので、対応できると思う。

(コーディネーター) :現在郊外にある養護学校が、街中に帰ってくることになる。街の方々が複合施設と併せて養護学校も受け入れることができればよいと思う。

これからの公民館

(構成員) :自分たちの活動のためだけに公民館の貸館を利用するグループは自己完結的で広がりが無い。このようなグループには、もっと街中に出て行って自分たちの活動をしてもらえるように相談機能を作ることとし、貸館機能は無くしてしまってもよいと思う。これからの公民館は誰のためのものかと考えたときに、種々のニーズがある中で全てを一緒にすることは難しいので、例えば1階は子育て世代が学ぶフロア、2階は若者が活動できるフロア、3階は地域のリーダーのためのフロアというようにフロア毎(あるいは部屋毎)に対象者を絞り、その対象者のニーズに応じた機能を整備すれば、色んなことができる施設になると思う。

社会教育の観点から、人と情報、人と知識、人とアイデアをつなぐことができる施設であり、また、人と人をつなぐ、同じ関心を持った人が出会い、活動につながることを応援できる施設、多様な世代と交流することができ、今後の尼崎市についてより広い視点で考えられるようになる施設であればよいと思う。

また、この複合施設は中央の拠点であるということを考えると、ここから発信した情報を各地域や各地区公民館等に持ち帰り、そこで活動できるようにするにはどうすればよいかといった視点を含めて今後議論していきたい。

旧梅香小学校のメモリアル要素

(コーディネーター)：複合施設の敷地は旧梅香小学校の跡地であることを伝えるメモリアルとなるものについて検討してもよいと思う。

設計上の工夫

(コーディネーター)：施設の仕様に関して、ガラス張りのデザインにするなど、中の活動が外から見えるような仕様にすれば、興味を持って見てくれる人が現れる。人と人がつながるきっかけとなるような設計上の工夫も必要である。

施設コンセプト

(構成員)：本日、事務局より梅香小学校敷地複合施設のあり方の検討にあたって施設コンセプトの説明があったが、作る側の施設コンセプトではなく、利用者側の施設コンセプトについて次回以降皆さんと意見交換できればと思う。

(コーディネーター)：次回以降意見交換できそうな雰囲気にはなっていると思う。

(2) 次回の開催日時について

- ・第3回から第5回市民会議の開催候補日について、出席者の予定を確認した。本日欠席の勇氏と途中退席の川岸氏の予定を確認後、決定する旨を説明した。

(3) 第1回梅香小学校敷地複合施設のあり方市民会議の議事録について

- ・第1回梅香小学校敷地複合施設のあり方市民会議の議事録(資料7)をホームページで公開するので、文言等で疑義がある場合は、7月4日までに事務局へ連絡していただくよう依頼した。

以上